

| | | | | | | |
|------|--|----|-------------|-----|----------|--------------------|
| 教科 | 商業 | 科目 | ビジネス・マネジメント | 単位数 | 小学科・学年 | 教科書 |
| | | | | 2単位 | 情報処理科・2年 | ビジネス・マネジメント (実教出版) |
| 副教材 | ビジネス・マネジメント準拠問題集 (実教出版) | | | | | |
| 学習目標 | 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるマネジメントに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | | | | | |

| 評価の基準・観点 | | |
|--|--|---|
| 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つマネジメントに関する知識を身に付けている。 | ビジネスにおけるマネジメントをはじめとした様々な知識などを活用し、ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、マネジメントに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。 | ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマネジメントについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経営資源のマネジメント、新たなビジネスの創造と展開などに責任をもって取り組もうとしている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 定期試験、小テスト 授業プリント等 | <ul style="list-style-type: none"> 定期試験、小テスト 授業プリント等、グループワーク ノートの見取り、ディスカッション等 | <ul style="list-style-type: none"> 予習課題、授業中の取り組み ノートの見取り、まとめ、発表 定期試験、テストなどの振り返り |
| 評価の方法 | 授業における態度、意欲、出欠状況、発表会の取組、課題の提出、小テスト、定期試験等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。 | |

| 学 習 の 内 容 (特色を含む) | | | |
|-------------------|---|----------|--|
| 月 | | 月 | |
| 4 | Introduction 1 マネジメントとは何か 2 『ビジネス・マネジメント』とは | 10 | 3 物的資源のマネジメント 4 情報的資源のマネジメント |
| 5 | 1章 ビジネスの創造 1 ビジネスの創造と社会 2 事業創造の基本 3 事業機会の発見 4 戦略と競争優位 5 事業創造の計画と実行 <div style="text-align: right;">中間試験</div> | 11 12 | 4章 ビジネスの変革 1 ビジネスの拡大 2 多角化の動機 3 多角化企業のマネジメント |
| 6 | 2章 ビジネスの組織化 | 1 | 5章 ビジネスと社会 |
| 7 | 1 組織のマネジメント 2 分業と調整 3 組織の設計 4 組織内部のマネジメント 5 取引関係のマネジメント <div style="text-align: right;">期末試験</div> | 2 | 1 社会における企業 2 企業への支援 3 企業の責任 4 企業への牽制 <div style="text-align: right;">学年末試験</div> |
| 9 10 | 3章 経営資源のマネジメント 1 財務的資源のマネジメント 2 人的資源のマネジメント | 3 | 1年間の振り返りとまとめ |

| 担当者からのメッセージ及び特色 |
|--|
| <p>1 授業 経営資源を最適に組み合わせて適切にマネジメントを行うために必要な資質・能力を育成することを目標に授業を進めていきます。</p> <p>2 家庭 新聞やニュースを通して新商品に関する諸問題に常に興味を持ちましょう。毎日、新聞や関連するテレビ番組を見るようにしましょう。</p> <p>3 補習 試験前には希望者がいければ実施します。</p> <p>4 検定 商業経済検定1級の合格を目指しましょう。</p> |